

インフルエンザ週報 2024年 第15週 (4月8日～4月14日)

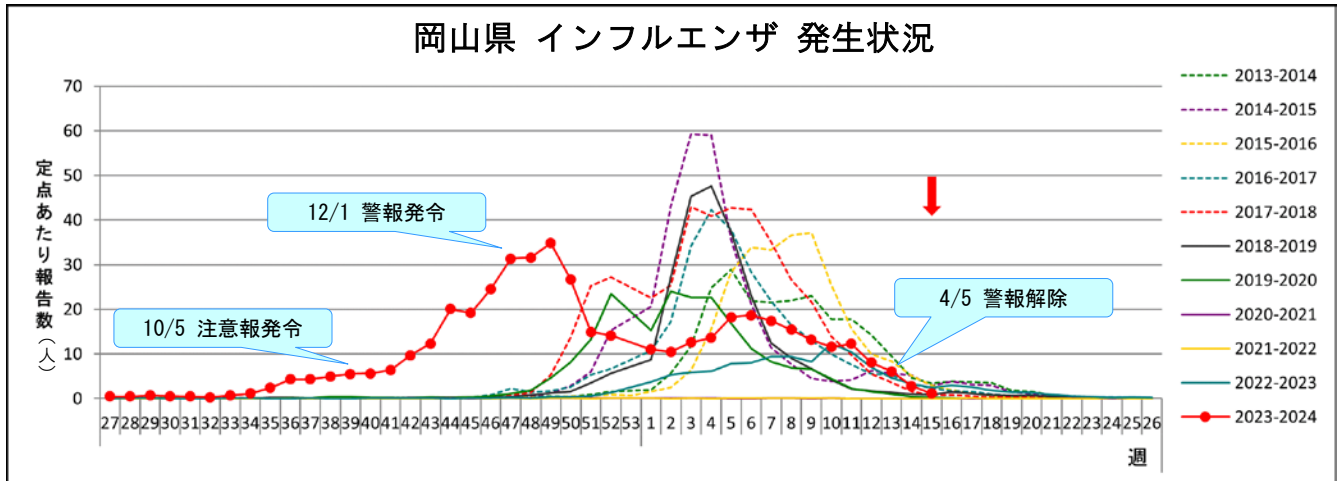
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で97名（定点あたり1.15人）の報告がありました（84定点医療機関報告）。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。

【第16週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました（4月15日～17日）。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で97名の報告があり、前週から減少しました（定点あたり2.75→1.15人）。岡山県は、引き続き『インフルエンザ注意報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市（1.69人）、備中地域（1.67人）、備北地域（1.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

県内の発生状況に注意するとともに、体調管理にも留意し、感染予防に努めましょう。

◆インフルエンザは、まだ流行しています。

引き続き感染に注意しましょう◆

【日常的な感染防止策】

- ・ 場面に応じたマスクの着用
- ・ 手洗い、手指消毒の実施
- ・ 室内の適度な湿度設定、定期的な空気の入換え
- ・ 高齢者や基礎疾患のある方などは、人混みを避ける
- ・ 十分な休養、バランスのとれた食事

【感染の拡大を防ぐために】

- ・ 発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診しましょう
 - ・ 咳などの症状があるときは、マスクを着用するなどの「咳エチケット」を！
 - ・ インフルエンザと診断されたら外出を控え、安静にして休養をとりましょう
- ⇒ 詳細は岡山県ホームページ [『インフルエンザ対策について』](#) をご覧ください。

1. 地域別発生状況

地域名	発生状況 (人)		推移	地域名	発生状況 (人)		推移
岡山県全体	患者数	97	▲	備 中	患者数	20	▲
	定点あたり	1.15			定点あたり	1.67	
岡山市	患者数	15	▲	備 北	患者数	9	▲
	定点あたり	0.68			定点あたり	1.50	
倉敷市	患者数	27	▲	真 庭	患者数	4	▶
	定点あたり	1.69			定点あたり	1.33	
備 前	患者数	14	▲	美 作	患者数	8	▲
	定点あたり	0.93			定点あたり	0.80	

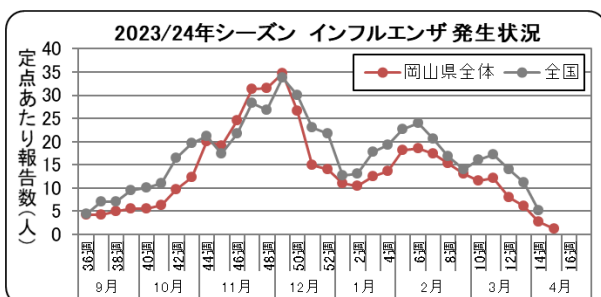
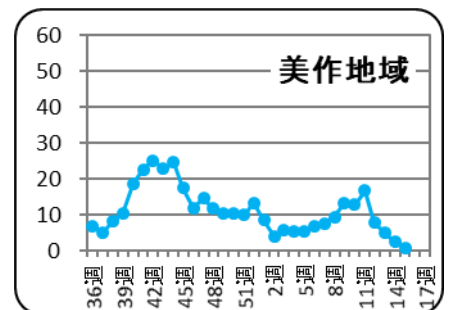
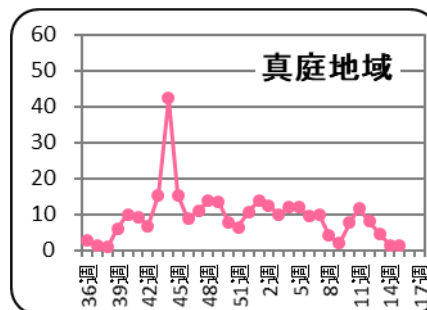
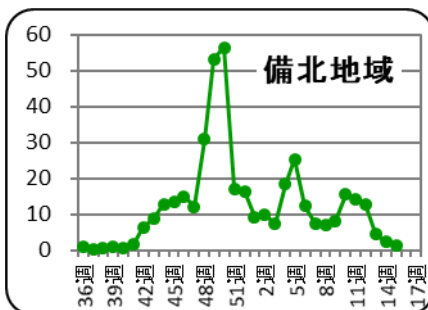
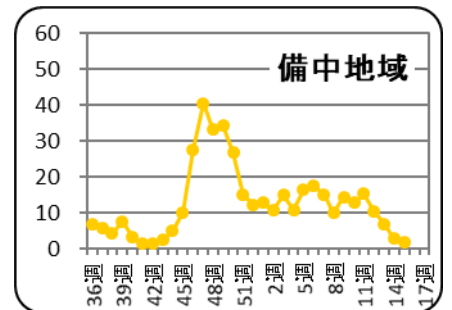
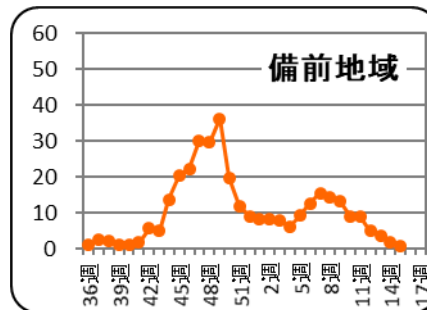
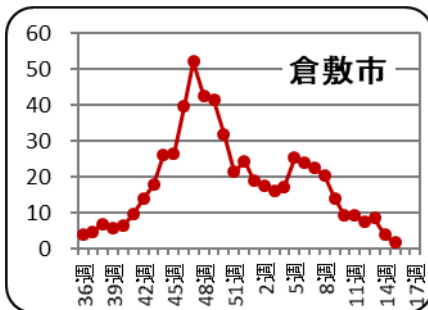
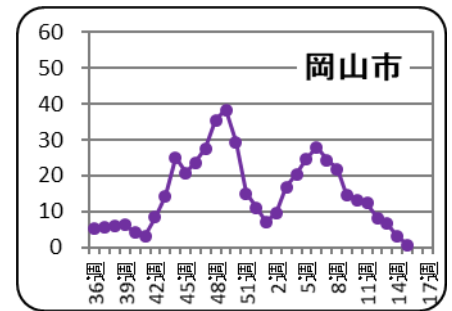
【記号の説明】 前週からの推移 ▲：大幅な増加 ▲：増加 ▶：ほぼ増減なし ▼：減少 ▼：大幅な減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10~100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

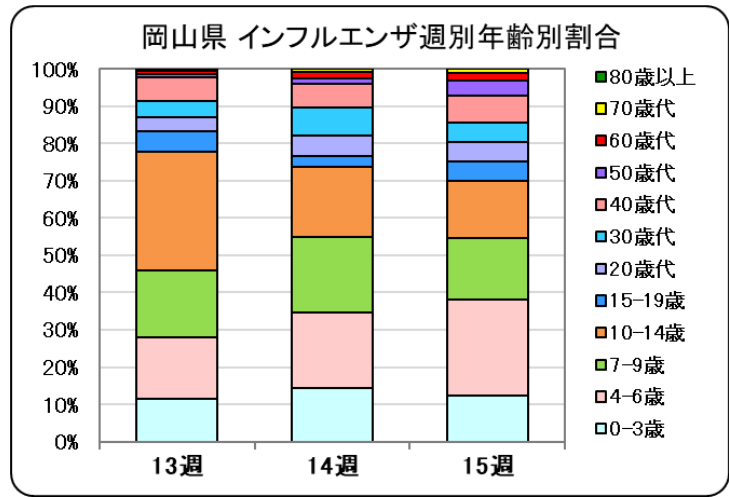
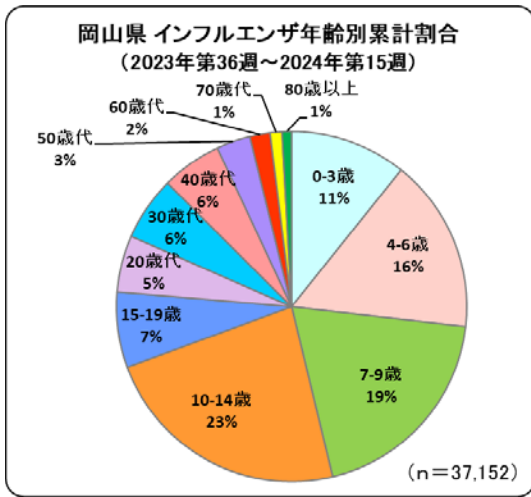
レベル3		レベル2	
開始基準値	終息基準値	基準値	
30	10	10 以上 30 未満	
レベル1		報告なし	
基準値		基準値	
0 < 10 未満		0	



全国集計 2024 年第 14 週 (4/1~4/7) 速報値によると、全国の定点あたり報告数は 5.10 人となりました。都道府県別では、山形県 (11.47 人)、新潟県 (10.25 人)、愛媛県 (9.67 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。全都道府県で前週の報告数から減少しました。

[インフルエンザの発生状況について \(厚生労働省\)](#)

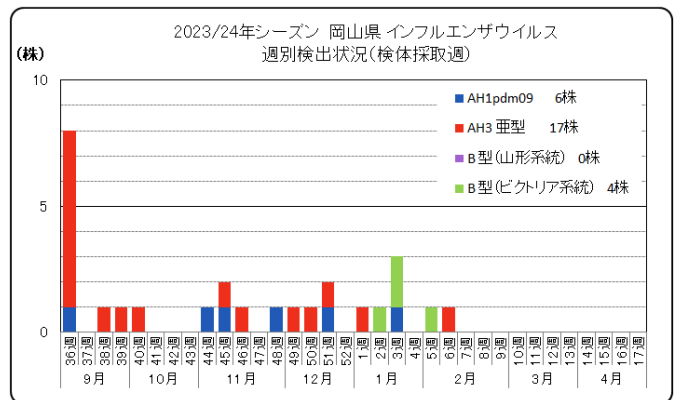
2. 年齢別発生状況



3. インフルエンザウイルス検出状況

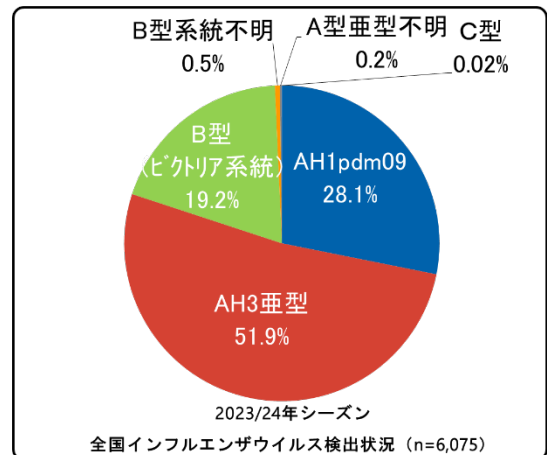
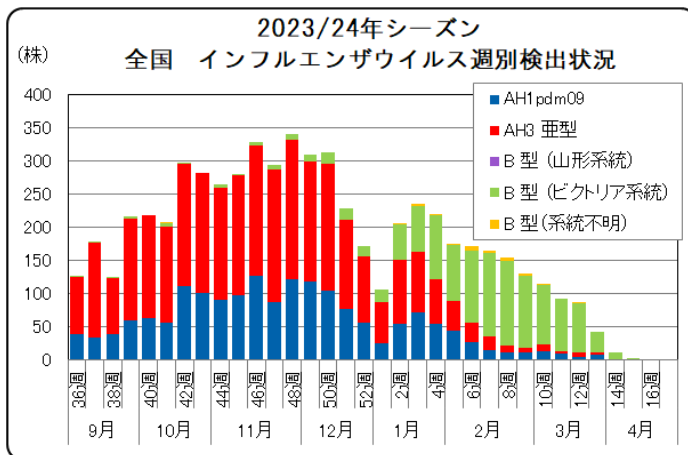
2024年第15週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。

今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは27株で、その内訳は、AH3亜型が17株、AH1pdm09が6株、B型（ビクトリア系統）が4株となっています。



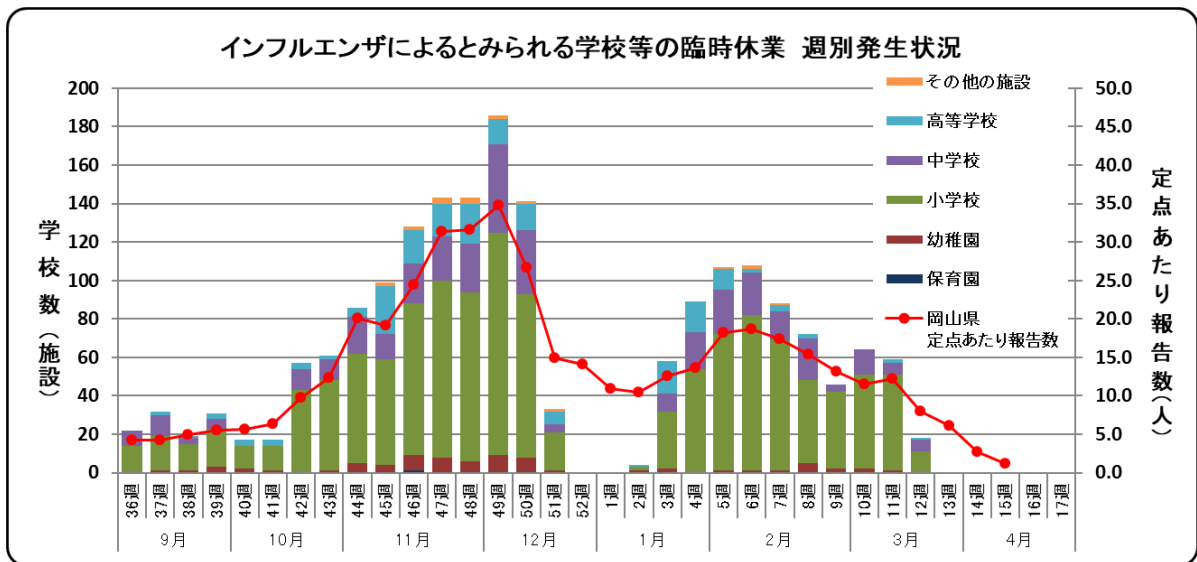
今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3亜型が3,153株、AH1pdm09が1,710株、B型（ビクトリア系統）が1,169株、B型系統不明が31株、A型亜型不明が11株、C型が1株となっています（4月16日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



1) 臨時休業施設数の内訳

第 15 週:0 施設 累計:1,928 施設

	保育園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	1	0	74	0	1,272	0	372	0	191	0	18

2) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

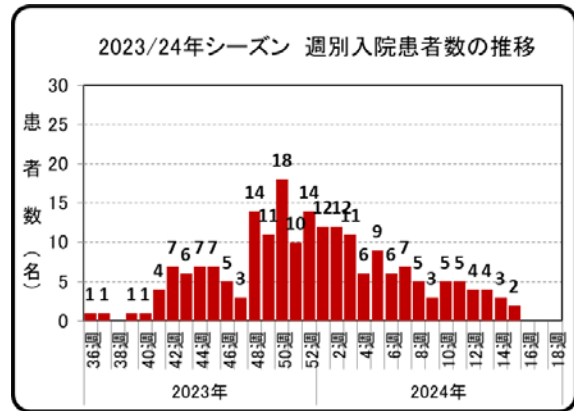
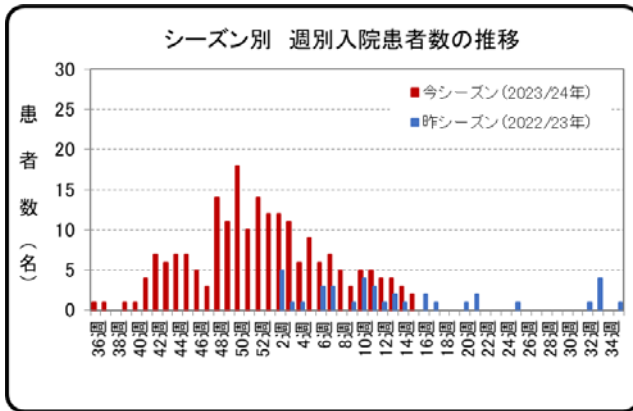
* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	31,058	0	25,245	0	1,928	0	34	0	439	0	1,455	R5.9.4
岡山市	0	12,204	0	9,951	0	730	0	6	0	47	0	677	R5.9.4
倉敷市	0	7,533	0	6,265	0	434	0	4	0	42	0	388	R5.9.4
備前地域	0	2,946	0	2,349	0	205	0	6	0	79	0	120	R5.9.4
備中地域	0	3,467	0	2,702	0	230	0	3	0	92	0	135	R5.9.4
備北地域	0	926	0	749	0	65	0	6	0	32	0	27	R5.10.17
真庭地域	0	636	0	482	0	28	0	4	0	18	0	6	R5.10.26
美作地域	0	3,346	0	2,747	0	236	0	5	0	129	0	102	R5.9.4

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、2 名（1 歳未満 1 名、5～9 歳 1 名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずウトウトしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 15 週 入院患者報告数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数	1		1										2
ICU 入室 *													
人工呼吸器の利用 *													
頭部 CT 検査(予定含) *													
頭部 MRI 検査(予定含) *			1										1
脳波検査 (予定含) *													
いずれにも該当せず	1												1

* 重複あり

【2023 年 9 月 4 日（第 36 週）以降に入院した患者の累計数】

年齢	1 歳未満	1～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計 *
入院患者数	17	33	65	9	5		1	3	6	11	22	32	204
ICU 入室 *		1	1		1			1	1		1	2	8
人工呼吸器の利用 *			1					1				1	3
頭部 CT 検査(予定含) *		2	1		1					1	5	5	15
頭部 MRI 検査(予定含) *	1	5	9	2	1					1		2	21
脳波検査 (予定含) *		1	7										8
いずれにも該当せず	16	26	51	7	3		1	2	5	10	16	26	163

* 重複あり

